

未来型図書館の「いま」をお伝えします！

みんなで作る未来型図書館



ニュースレター vol.13



現在、図書館や博物館などの専門家から成るアドバイザーボードやリビングラボなどを通じて、施設整備に向けた大切な方針となる基本計画の策定に向けて取り組んでいます。年度末の基本計画の完成に向けて、引き続き皆さんとの対話を大切にしながら進めていきます。

基本計画づくり

6月から9月に開催したアドバイザーボードやリビングラボでの対話のもと、9月議会において、未来型図書館の核となる図書館機能と想定する事業範囲についての考え方を整理し、方向性をお示しました。詳しい内容については、市ホームページに掲載していますので是非、ご覧ください。

✓小松ならではの特色ある「テーマ配架」を導入

✓博物館や他の機能との融合・連携の視点を大切に検討を進めるなど

リビングラボ

8月4日(日)に第1回、9月8日(日)には第2回を開催し、各回ともに70名を超える方にご参加いただきました。第1回目は図書館機能において重要となるライブラリーテーマを考え、ユニークなテーマが市民の皆さんからたくさん出されました。第2回目は博物館機能を中心とした施設全体の機能の融合・連携を目指す企画を考え、10月5日(土)に開催する第3回のテーマ「建築空間」の検討に活かしていきます。



第1回目の様子



第2回目の様子

子ども司書クラブ

9月7日(土)に岐阜市立中央図書館「みんなの森ぎふメディアコスモス」を訪問しました。昨年度から交流を続けている岐阜市の子ども司書と一緒にラジオ番組の制作に挑戦しました。交流会の様子は未来型図書館noteをご覧ください！



みんなで作る未来型図書館

リレーエッセイ

第13回目は基本計画づくりのアドバイザーであり、九九谷代表の吉田良晴さんです！

残暑きびしいですが皆さまいかがお過ごしでしょうか？私、ここ産地小松で九谷焼に関わるお仕事、音楽、スケートボードに関わるお仕事、と様々ですが要約するとクリエイター、アーティストを生業にさせていただいております。

小松市で議論を重ねている「小松市未来型図書館」であります。一体どんな図書館が出来るのでしょうか？どんな図書館になったら皆さんにとって良い図書館ですか？例えば目的の書物がすぐに見つけられたり、AIで個々に合ったオススメの本など提案してくれたり、より便利になるかしら？カフェ併設は？お茶でもしながら、友人とも会話できていいですね。ワークショップは？音楽制作は？などなど、未来型図書館は単なる情報提供の場ではなく、人々が集い、学び合う場へと進化し、文化的な側面が融合できる可能性を抱いています。「文化は社会の礎」と言いますから、即ち小松の豊かな社会が育まれていくことに希望を寄せております。



吉田 良晴さん

お知らせ



未来を担うティーンズ世代の皆さんの声をお聞きするためのアンケートフォームを開設！詳しくは市ホームページをチェックして下さい！

note インスタグラム 市HP

